

# NPO/NGO アジア キッズ ケアだより

【住所】〒791-3131 愛媛県伊予郡松前町北川原 1054-3 【発行者】代表:喜安 美紀 【発行日】2021. 5. 10(通巻第 18 号)  
【HP】<https://asian-kids-care.com/> 【E-mail】[kids@asian-kids-care.com](mailto:kids@asian-kids-care.com) 【団体設立】2004. 2. 11 【法人設立】2011. 9. 13  
【TEL】090-5912-4515(事務局長:喜安) 【郵便振替】口座番号: 01600-5-13009、口座名義: NPO法人アジアキッズケア  
【ゆうちょ銀行】店番:169、店名:一六九店、口座番号(当座):0013009、受取人名:NPO法人 アジアキッズケア

アジアキッズケアの子供支援活動を始めて、約 17 年が経過しました。ボランティア参加者や子供たちから、「なぜ、この活動を始めたのですか?」とよく尋ねられます。それは、娘が 18 年前に亡くなったことがきっかけでした。その半年後に、スラムで子供救済活動を行っているビル・ウィルソン牧師の講演を京都で聞いて、アジアやアフリカの困っている「子供のいのちを守りたい」、そのお役に立ちたいと願って夫婦で活動を始めました。

現在、新型コロナ感染症が世界中に影響を及ぼしていますが、皆様の健康と安全・安心、速やかな収束を心から祈念しつつ、私たちのできる支援活動を継続したいと思っています。皆様からのご支援を心から感謝します。

2021. 5. 10

NPO法人アジアキッズケア 代表:喜安 美紀、事務局長:喜安 勝也

## ブータンとバングラデシュの子供たちへ … コロナ禍の中で私たちのできること

ブータンは、高地の厳しい自然環境の中、貧しくても幸福度が高い国です。家族が助け合い、毎日感謝の気持ちで過ごすそうです。12月20日(日)、結婚して来日したレキさん家族の母国紹介の後、みんなで持ち寄った支援物資を箱詰めし、現地の弟カンドウさんを通して必要な子供たちに「ハンド to ハンド」で手渡します。

また、バングラデシュにも、現地メンバーのジャマル・ウディン博士と連携して貧しい子供たちに配布します。

新型コロナ禍の中、日本の若者たちも笑顔で荷造りボランティア活動に参加し、「人のために役立てたと思うと嬉しく、また参加したい」「日本が便利で恵まれた国だと分かり、感謝を忘れないようにしたい」「交流を通して、幸せの国のイメージと違う現実を知ることができた」「荷物が現地に届いて、子供たちが喜んでくれたらいいな」「将来、国際協力・国際支援に携わりたい」等の感想を書いてくれました。

最後に、参加者全員が、ブータンのゾンガ語で「カディンチュラ(ありがとう)」とお互いに言いました。



令和3年4月は、新型コロナ対応で、荷造りボランティア活動は中止しましたが、私たち夫婦で支援物資の荷造りをし、フィリピンの子供たちに発送しました。多くの国がロックダウンで輸送ルートがストップしています。

## 荷造りボランティアを継続 17 年 … 支援物資は 16 か国に 1090 箱

世界中のコロナ禍の中、この1年間、支援物資(衣類、文房具、楽器、日用品等)を次のように発送・配布しました。

- ・2020. 8 フィリピン(大4)
- ・2020. 11 インド、インドネシア(8)
- ・2021. 1 ブータン、バングラデシュ(7)
- ・2021. 4 フィリピン(大4)

※支援物資の送付実績 1090箱、送料経費総額 6,867,971円 (2021.4 現在)

### <支援物資のご提供をお願いします> ※私たちのまごころを添え「ハンド to ハンド」で届けます

支援物資として、夏物衣類(子供~大人用:Tシャツ・ジーンズ・体操服等)、文房具(ノート類、筆記具、消しゴム、定規等)、楽器(ピアノカ等)、通学用バッグ、バスケット・サッカーボール等のご提供をお願いします。

※夏物衣類は洗濯して汚れやほころびのない物。金属類・冬物衣類は現在受入れ不可です。

## ブータンに届いた支援物資 … みんなの幸せを願って、共に感謝と笑顔に

年末の12月に荷造りした支援物資は、コロナ禍の中、3月下旬に船便にて現地に到着し、日本の皆様からのまごころを添えて、ブータンの人々にプレゼントしました。父母のいない子や障がいがある方にもお渡ししました。

サクテン村は、学校や病院や商店等も近くにないのですが、人々は家族の団らんを大切に、子供たちも新拾い等の手伝いを毎日欠かさず、助け合って生活しています。子供たちは今回の衣類・文房具・楽器・マスク等をとても喜んで受け取るとともに、「We are very happy. Thank you for the notebook. Thank you for your warm clothes.」等のメッセージと笑顔の写真が送られてきました。レキさんもとても喜んでいました。



## バングラデシュに届いた支援物資 … 日本留学した仲間等とまごころ込めて

3月26日のバングラデシュの独立記念日、ジャマル・ウディン博士（農業大学教授・日本留学）と連携して、子供たちに学用品や衣類等の支援物資をプレゼントしました。貧困により学校に行くことが困難な子供たちが、就学によって将来の希望と幸せを得て、国の発展に貢献する人材に成長することを願っています。

バングラデシュから来日した留学生は、使命感を持って日本の農業技術などを習得し、母国に伝え実践しています。ジャマル博士もそうした親日家で、私たちと一緒に貧しい子供たちをサポートしています。コロナ禍にあっても、国際交流・国際支援活動は停滞することなく継続され、両国の架け橋となってくれています。



**<荷造りボランティアに参加してみませんか>** ※新型コロナ感染拡大防止のため中止する場合があります。

【実施日時】 偶数月の第3日曜日：14時～16時 【実施場所】 アジアキッズケア事務所・駐車場あり

小学生から大人まで参加し、留学生による母国紹介の他、楽しい国際交流や国際支援活動の場になっています。

※できれば、支援物資（夏物衣類、文房具、ピアノカ、バッグ、バスケット・サッカーボール等）をご持参ください。

## 貧困の子供たちの夢と希望をつなぐ … 教育・生活サポート（毎月3000円）

貧困の子供たちが学校に行くために、教育・生活支援をしてくださる里親支援のサポーターを求めています。彼らの自立を実現することによって、家族、地域も支えることにつながります。私たちが目指しているのは、将来彼らが同じ境遇の子供を支える現地リーダーになって、支援を繋いでいく後継者となることです。

フィリピン、インド、マラウイ、ケニアなどの子供たちに対して、信頼できる現地協力者とともに、彼らの夢と希望を実現し、就労・自立につながるサポート活動を行っています。※申し込みは、団体HPよりお願いします。